

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表 2025

サービス経営学部 健康福祉マネジメント学科

授業科目名	担当者	単位数	実務経験
高齢者福祉 (老人福祉論Ⅱ)	影山 優子	2	社会福祉法人聖ヨハネ会桜町特別養護老人ホーム、NPO法人ミニケアホームきみさんちにて高齢者支援を担当。実務経験をもとに高齢者の生活や制度等について理論と実践の融合を図っている。
社会福祉援助技術論Ⅰ	藤田 則貴	2	社会福祉法人マザアス 認知症高齢者グループホームおがわの立ち上げ及び山梨県立富士見養護学校、山梨県立かえで養護学校に教諭として勤務。実務経験をもとに社会福祉士のソーシャルワークについて理論と実践の融合を図っている。
社会福祉援助技術論Ⅱ	藤田 則貴	2	社会福祉法人マザアス 認知症高齢者グループホームおがわの立ち上げ及び山梨県立富士見養護学校、山梨県立かえで養護学校に教諭として勤務。実務経験をもとに社会福祉士のソーシャルワークについて理論と実践の融合を図っている。
社会福祉援助技術論Ⅳ	藤田 則貴	2	社会福祉法人マザアス 認知症高齢者グループホームおがわの立ち上げ及び山梨県立富士見養護学校、山梨県立かえで養護学校に教諭として勤務。実務経験をもとに社会福祉士のソーシャルワークについて理論と実践の融合を図っている。
社会福祉援助技術演習Ⅲ	藤田 則貴	2	社会福祉法人マザアス 認知症高齢者グループホームおがわの立ち上げ及び山梨県立富士見養護学校、山梨県立かえで養護学校に教諭として勤務。実務経験をもとに社会福祉士のソーシャルワークについて理論と実践の融合を図っている。
障害者福祉論	藤田 則貴	2	社会福祉法人マザアス 認知症高齢者グループホームおがわの立ち上げ及び山梨県立富士見養護学校、山梨県立かえで養護学校に教諭として勤務。実務経験をもとに社会福祉士のソーシャルワークについて理論と実践の融合を図っている。
ヒューマンサービス マネジメント論	藤田 則貴	2	社会福祉法人マザアス 認知症高齢者グループホームおがわの立ち上げ及び山梨県立富士見養護学校、山梨県立かえで養護学校に教諭として勤務。実務経験をもとに社会福祉士のソーシャルワークについて理論と実践の融合を図っている。
相談援助の基盤と専門職Ⅱ	藤田 則貴	2	社会福祉法人マザアス 認知症高齢者グループホームおがわの立ち上げ及び山梨県立富士見養護学校、山梨県立かえで養護学校に教諭として勤務。実務経験をもとに社会福祉士のソーシャルワークについて理論と実践の融合を図っている。
フィットネス論	加藤 三彦	2	プロコーチとしての経験があり、実務経験をもとに身体教育学について理論と実践の融合を図っている。
コーチング論	加藤 三彦	2	プロコーチとしての経験があり、実務経験をもとにスポーツ科学、指導法(コーチング)について理論と実践の融合を図っている。
スポーツマネジメント論Ⅰ	加藤 三彦	2	プロコーチとしての経験があり、実務経験をもとに、スポーツ科学、スポーツマネジメントについて理論と実践の融合を図っている。
合計		22	

授業形態	開講学部	サービス経営学部		選択	2単位	講義	
	2年次	開講期	後期	ディスカッション	無	学外授業	無
授業科目（英名）	高齢者福祉（旧：老人福祉論Ⅱ）(Social Welfare for the Elderly)						
担当教員名	影山 優子 (◎は科目責任者)						
<p>[授業の概要] 高齢者福祉を取り巻く社会的環境、歴史的背景、また介護保険制度をはじめとした様々な法制度、専門職の役割や家族支援の実際について体系的に学びます。</p> <p>[科目の位置付け（全学年を通しての関連科目）] この科目は、本学部のカリキュラム・ポリシー(3)、すなわち、社会福祉コースの実践的で柔軟な専門性を修得する科目として位置づけられます。高齢者を取り巻く様々な現状や諸問題、政策、高齢者の身体的、心理的特性等を学びます。少子高齢社会の到来が私たちの暮らしに与える影響について知ることは、現代社会を生きるための必須課題です。</p> <p>[到達目標] (1) 高齢者の定義と特性を踏まえ、高齢者とその家族の生活とこれを取り巻く社会環境について理解する (2) 高齢者福祉の歴史と高齢者観の変遷、制度の発展過程について理解する (3) 高齢者に対する法制度と支援の仕組みについて理解する (4) 高齢期における生活課題を踏まえて、社会福祉士としての適切な支援のあり方を理解する</p>							
回	授業計画			授業外学修 (事前学修・事後学修)		担当者	
1	ガイダンス 高齢者福祉の定義と特性			事前学修(90分)：高齢者問題を扱った記事を探しまとめる 事後学修(90分)：授業で扱った課題から一つを選びレポートをまとめる		影山	
2	高齢者の生活実態			事前学修(90分)：自分の居住地の高齢化率、高齢者の生活環境を調べる 事後学修(90分)：授業の内容を踏まえて居住地の特徴や課題をまとめる		影山	
3	高齢者を取り巻く社会環境			事前学修(90分)：8050問題について調べる 事後学修(90分)：介護者の離職問題について調べてまとめる		影山	
4	高齢者福祉の理念			事前学修(90分)：「尊厳」について調べる 事後学修(90分)：高齢者の法制度における理念について調べる		影山	
5	高齢者観の変遷と高齢者福祉制度の発展過程			事前学修(90分)：エイジズムについて調べる 事後学修(90分)：高齢者介護における家族支援について自分の意見をまとめる		影山	
6	老人福祉法①			事前学修(90分)：老人福祉法を読む 事後学修(90分)：措置と契約の違いについてまとめる		影山	
7	老人福祉法②			事前学修(90分)：高齢者福祉領域における社会福祉士の役割について自分の考えをまとめる 事後学修(90分)：社会福祉士と連携する他職種を調べる		影山	
8	前半のまとめ			事前学修(90分)：老人福祉法と介護保険法との関係をまとめる 事後学修(90分)：前半の学びを振り返りレポートにまとめる		影山	
9	介護保険法①			事前学修(90分)：居住地の「介護保険の手引き」を入手し介護保険法の概要を理解する 事後学修(90分)：介護保険法の理念についてまとめる		影山	
10	介護保険法②			事前学修(90分)：居住地の介護保険料を調べその背景を分析する 事後学修(90分)：介護保険料の変遷について調べる		影山	
11	介護保険法③			事前学修(90分)：介護サービスの種類についてまとめる 事後学修(90分)：自分の住む自治体の地域密着型サービスの整備状況について調べまとめる		影山	
12	高齢者に対する法制度①			事前学修(90分)：高齢者医療確保法について調べる 事後学修(90分)：高齢者医療に関する直近のデータをまとめる		影山	
13	高齢者に対する法制度②			事前学修(90分)：高齢者虐待防止法について調べる 事後学修(90分)：地域における身近なバリアフリーの事例を調べる		影山	

14	高齢者と家族等の支援における関係機関と専門職の役割	事前学修(90分)：高齢者福祉に関連する専門職について調べる 事後学修(90分)：自分の自治体で行われている認知症サポーター研修について資料を調べる	影山
15	高齢者と家族等に対する支援の実際	事前学修(90分)：社会福祉士の役割について調べる 事後学修(90分)：授業全体をふり返りまとめる	影山
成績評価の方法と基準		学習意欲の把握を行うものとしてコメント票(10%)、課題・レポート(40%)、試験(50%)により総合的に評価します。	
履修上の留意点		社会福祉士受験資格指定科目です。社会福祉士を受験予定の学生は必ず履修する必要があります。社会福祉士受験資格指定科目「高齢者福祉」に該当します。	
ディプロマ・ポリシーとの関連		本科目は、サービス経営学部ディプロマポリシーの(1)(2)と関連しています。特に高齢者に対する法制度と現代社会における生活課題の把握についての知識・理解の修得は重要です。	
教科書		新・社会福祉士シリーズ13「高齢者福祉」弘文堂(2021)	
参考書・参考資料		適宜提示・配布します	
学生との連絡方法		AAAを使います	
実務経験科目		実務経験科目に該当する。社会福祉法人聖ヨハネ会桜町特別養護老人ホーム、NPO法人ミニケアホームきみさんちにて高齢者支援を担当。実務経験をもとに高齢者の生活や制度等について理論と実践の融合を図っている。	

授業形態	開講学部	サービス経営学部		選択	2単位	講義	
	2年次	開講期	前期	ディスカッション	有	学外授業	無
授業科目 (英名)	社会福祉援助技術論 I (Techniques in Social Works I)						
担当教員名	藤田 則貴 (◎は科目責任者)						
[授業の概要] ソーシャルワーク専門職である社会福祉士がどのような役割があるのか理解した上で、ソーシャルワークを実践する構成要素や関係構造について理解します。また、シームレスな実践を行うための援助展開過程を段階的に追いつながら、それぞれの目的や意義について言語化できるようにすることを目指します。							
[科目の位置付け (全学年を通しての関連科目)] この科目は、サービス経営学部のカリキュラム・ポリシー (3)、すなわち、社会福祉コースの実践的で柔軟な専門性を修得する科目として位置づけられます。相談援助 (ソーシャルワーク) では、ケースワークやグループワークといった方法を細分化でとらえるのではなく、ソーシャルワークを統一したものとして理論をとらえています。							
[到達目標] (1) 社会福祉士の価値を基盤としながら、援助展開過程等の専門的な知識について説明できるようになる。 (2) クライアントを中心とした援助展開過程を理解する。 (3) グループでの討議の際、仲間同士で助け合うことで他者との価値を共有することができる。							
回	授業計画	授業外学修 (事前学修・事後学修)			担当者		
1	オリエンテーション「ソーシャルワークの理論と方法」の位置づけ/社会福祉士の役割について ◆社会福祉士の活躍する場や資格の重要性について説明することができる。	事前学修 (90分) : 社会福祉士の役割について調べる 事後学修 (90分) : 事前学修と比較し、自身がどのような理解をしたか確認する。			藤田則貴		
2	ソーシャルワークとは/ソーシャルワークの定義や具体的な事例を学ぶ ◆「ソーシャルワーク専門職のグローバル定義」をもとに、ソーシャルワークとは何か、機能や固有の視点について説明することができる。	事前学修 (90分) : テキスト「ソーシャルワークにおける援助関係の形成」を予習する。 事後学修 (90分) : ソーシャルワークについて、福祉について学んだことがない地域住民に向け説明すると仮定した文章を作成する。			藤田則貴		
3	ソーシャルワークにおける援助関係/自己覚知・信頼関係の構築 ◆価値とは何なのか理解する。また、「社会福祉士の倫理綱領」をもとにした、自己理解・他者理解について説明することができる。	事前学修 (90分) : テキスト「ソーシャルワークにおける援助関係の形成」を予習する。 事後学修 (90分) : ボランティア等の経験を通し、自身の価値について振り返る。			藤田則貴		
4	総合的かつ包括的な支援におけるソーシャルワークの実際 ◆各ケースにおいて、複雑化・多様化したニーズとは何かについて説明することができる	事前学修 (90分) : テキスト「総合的かつ包括的な支援におけるソーシャルワークの実際」を予習する。 事後学修 (90分) : クライアントの背景について言語化する。			藤田則貴		
5	人と環境の交互作用をシステムとして理解する① ◆人と環境の交互作用について理解する。	事前学修 (90分) : テキスト「人と環境の交互作用に関する理論とソーシャルワーク」を予習する。 事後学修 (90分) : 「環境」とは何かについて検討する。			藤田則貴		
6	人と環境の交互作用をシステムとして理解する② ◆ミクロ・メゾ・マクロレベルについて理解する。	事前学修 (90分) : テキスト「人と環境の交互作用に関する理論とソーシャルワーク」を予習する。 事後学修 (90分) : 「ミクロ・メゾ・マクロレベル」とは何かについて言語化する。			藤田則貴		
7	ソーシャルワークの構造/ニーズに関する理解① ◆ソーシャルワークの展開過程とおし、ニーズのとらえ方について理解する。	事前学修 (90分) : ニーズについて調べ、説明する。 事後学修 (90分) : 事例をとおり、ニーズについて明らかにする。			藤田則貴		
8	ソーシャルワークの構造/ニーズに関する理解② ◆事例をとおり、デマンドとニーズの関係性、フェルト・ニーズ、ノーマティブ・ニーズ、リアル・ニーズについて理解する。	事前学修 (90分) : 第7回の授業を振り返る。 事後学修 (90分) : 授業でとらえたニーズについて再度考察する。			藤田則貴		
9	ソーシャルワークの過程について理解する① ◆全体の概要について確認し、ケース発見からアセスメントについて理解する。	事前学修 (90分) : テキスト「ソーシャルワークの過程」に関する内容を予習する。 事後学修 (90分) : 授業で確認した内容について、次回の授業につなげられるよう復習する。			藤田則貴		
10	ソーシャルワークの過程について理解する② ◆プランニングについて理解する。	事前学修 (90分) : テキスト「ソーシャルワークの過程」に関する内容を予習する。 事後学修 (90分) : 授業で確認した内容について、次回の授業につなげられるよう復習する。			藤田則貴		
11	ソーシャルワークの過程について理解する③ ◆プランニングについて理解する。	事前学修 (90分) : テキスト「ソーシャルワークの過程」に関する内容を予習する。 事後学修 (90分) : 授業で確認した内容について、次回の授業につなげられるよう復習する。			藤田則貴		

12	ソーシャルワークの過程について理解する④ ◆モニタリング・終結・アフターケアについて理解する。	事前学修(90分)：テキスト「ソーシャルワークの過程」に関する内容を予習する。 事後学修(90分)：授業で確認した内容について、次回の授業につなげられるよう復習する。	藤田則貴
13	ケアマネジメントについて理解する	事前学修(90分)：テキスト「ケアマネジメント」に関する内容を予習する。 事後学修(90分)：ソーシャルワークの過程とつなげ復習する。	藤田則貴
14	グループを活用した支援について理解する	事前学修(90分)：テキスト「グループを活用した支援」に関する内容を予習する。 事後学修(90分)：ソーシャルワークの過程とつなげ復習する。	藤田則貴
15	まとめ/前期で学んだ内容に関する問題を解く	事前学修(90分)：前期で学んだことを振り返る。 事後学修(90分)：後期で学ぶ内容について予習する。	藤田則貴
成績評価の方法と基準	受講態度及び確認レポート内容(40%)、課題レポート(60%)により、総合的に評価します。		
履修上の留意点	社会福祉士サブコース生の限定科目です。社会福祉援助技術論Ⅰ・Ⅱの履修によって、社会福祉士受験資格指定科目「ソーシャルワークの理論と方法」に該当します。		
ディプロマ・ポリシーとの関連	本科目は、サービス経営学部ディプロマポリシーの(1)～(4)と関連しています。特に、社会福祉を学ぶ最初の段階であるため、ソーシャルワーカーの価値を基盤としながら、価値・知識・技術を結び付けて理解することを目的とします。		
教科書	一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟『最新 社会福祉士養成講座6 ソーシャルワークの理論と方法 [社会専門]』中央法規出版) 一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟『最新 社会福祉士養成講座 精神保健福祉士養成講座12 ソーシャルワークの理論と方法 [共通科目]』中央法規出版)		
参考書・参考資料	宮田和明ら(2007)『社会福祉専門職論』中央法規出版 上野谷加代子(2020)『共生社会創造におけるソーシャルワークの役割』ミネルヴァ書房 川村隆彦(2011)『ソーシャルワーカーの力量を高める理論・アプローチ』中央法規出版 大谷京子・田中和彦(2018)『失敗ポイントから学ぶPSWのソーシャルワークアセスメントスキル』中央法規出版		
学生との連絡方法	メール、AAA上		
実務経験科目	実務経験科目に該当する。社会福祉法人マザアス 認知症高齢者グループホームおがわ の立ち上げ及び山梨県立富士見養護学校、山梨県立かえで養護学校に教諭として勤務。 実務経験をもとに社会福祉士のソーシャルワークについて理論と実践の融合を図っている。		

授業形態	開講学部	サービス経営学部		選択	2単位	講義	
	2年次	開講期	後期	ディスカッション	有	学外授業	無
授業科目 (英名)	社会福祉援助技術論Ⅱ (Techniques in Social Works II)						
担当教員名	藤田 則貴 (◎は科目責任者)						
[授業の概要] ソーシャルワーク専門職である社会福祉士がどのような役割があるのか理解した上で、ソーシャルワークを実践する構成要素や関係構造について理解します。特に、面接場面における理解や交渉、プレゼンテーション等の場面で実践できるよう理解します。							
[科目の位置付け (全学年を通しての関連科目)] この科目は、サービス経営学部のカリキュラム・ポリシー (3)、すなわち、社会福祉コースの実践的で柔軟な専門性を修得する科目として位置づけられます。相談援助 (ソーシャルワーク) では、ケースワークやグループワークといった方法を細分化でとらえるのではなく、ソーシャルワークを統一したものとして理論をとらえていきます。							
[到達目標] (1) 面接場面における基本的な知識が説明でき、実践につなげることができる。 (2) クライアントにかかわる際の基本的な姿勢を身につけることができる。 (3) 交渉・プレゼンテーションの重要性を理解することができる。							
回	授業計画			授業外学修 (事前学修・事後学修)		担当者	
1	オリエンテーション/後期授業内容の確認・前期で学習した内容の復習 ◆後期で学ぶ内容について確認する。			事前学修 (90分) : 前期で学んだことを復習する。 事後学修 (90分) : 内容を復習する。		藤田則貴	
2	ソーシャルワークの面接① ◆普段の相談場面と専門職における相談場面の違いを理解し、自身のコミュニケーション実践を確認する。			事前学修 (90分) : テキスト「ソーシャルワーク面接」を予習する。 事後学修 (90分) : 自身のコミュニケーション実践場面を振り返る。		藤田則貴	
3	ソーシャルワークの面接② ◆DVDの事例をとおり、パスティックの7原則に基づいたインテーク場面について理解する。			事前学修 (90分) : テキスト「ソーシャルワーク面接」を予習する。 事後学修 (90分) : 自身のコミュニケーション実践場面を振り返る。		藤田則貴	
4	ソーシャルワークの面接③ ◆DVDの事例をとおり、共感・受容等について理解する。また、文書や口頭等の契約について理解する。			事前学修 (90分) : テキスト「ソーシャルワーク面接」を予習する。 事後学修 (90分) : 面接技法が実践できるよう復習する。		藤田則貴	
5	カンファレンスに関する理解 ◆会議の目的や種類等について理解する。			事前学修 (90分) : テキスト「カンファレンス」を予習する。 事後学修 (90分) : 自身の立場を理解し、会議における役割を言語化する。		藤田則貴	
6	相談援助のための記録① ◆記録の意義、目的を理解し、倫理的な配慮ができるようになる。			事前学修 (90分) : テキスト「ソーシャルワークの記録」を予習する。 事後学修 (90分) : 具体的な倫理的な配慮について確認する。		藤田則貴	
7	相談援助のための記録② ◆実際に記録をとり、スーパービジョンにも活用できる。			事前学修 (90分) : 自身の実践場面を振り返る。 事後学修 (90分) : スーパービジョンで活用した内容を確認する。		藤田則貴	
8	相談援助のためのアセスメント技術Ⅱ/ジェノグラム・エコマップ① ◆事例を読み解き、どのような課題があるのかディスカッションする。			事前学修 (90分) : アセスメントの実践について学習する。 事後学修 (90分) : ディスカッションした内容について振り返る。		藤田則貴	
9	相談援助のためのアセスメント技術Ⅱ/ジェノグラム・エコマップ② ◆ジェノグラム・エコマップを作成することができるようになり、アセスメントに活用できる。			事前学修 (90分) : ジェノグラムやエコマップについて調べてくる。 事後学修 (90分) : 自身にかかわるジェノグラム・エコマップを作成する。		藤田則貴	
10	スーパービジョンとコンサルテーション ◆スーパービジョンの実際について理解する。			事前学修 (90分) : テキスト「スーパービジョンとコンサルテーション」を予習する。 事後学修 (90分) : 「スーパービジョン」について言語化する。		藤田則貴	
11	スーパービジョンとコンサルテーション ◆コンサルテーションについて理解する。			事前学修 (90分) : テキスト「スーパービジョンとコンサルテーション」を予習する。 事後学修 (90分) : 「コンサルテーション」について言語化する。		藤田則貴	
12	交渉・プレゼンテーションにおける技法 ◆ソーシャルワーカーが交渉を行う目的や技法について理解する。			事前学修 (90分) : テキスト「」を予習する。 事後学修 (90分) : SWが行う交渉場面を調べる		藤田則貴	

13	プレゼンテーションするための準備を行う① ◆他者に伝えるための工夫を行い、実践に向けた準備を行う。	事前学修(90分)：プレゼンテーションの意義を振り返る 事後学修(90分)：これまで学んできたことを記録にまとめる。	藤田則貴
14	プレゼンテーションするための準備を行う② ◆他者に伝えるための工夫を行い、実践に向けた準備を行う。	事前学修(90分)：前回の準備の続きを行う。 事後学修(90分)：これまで学んできたことを記録にまとめる。	藤田則貴
15	まとめ/前期で学んだ内容に関する問題を解く	事前学修(90分)：前期で学んだことを振り返る。 事後学修(90分)：後期で学ぶ内容について予習する。	藤田則貴
成績評価の方法と基準		受講態度及び確認レポート内容(40%)、課題レポート(60%)により、総合的に評価します。	
履修上の留意点		社会福祉士サブコース生の限定科目です。社会福祉援助技術論Ⅰ・Ⅱの履修によって、社会福祉士受験資格指定科目「ソーシャルワークの理論と方法」に該当します。	
ディプロマ・ポリシーとの関連		本科目は、サービス経営学部ディプロマポリシーの(1)～(4)と関連しています。特に、ソーシャルワーカーの価値を基盤としながら、面接場面や交渉といった実践の理解を目的とします。	
教科書		『最新 社会福祉士養成講座6 ソーシャルワークの理論と方法 [社会専門]』中央法規出版) 『最新 社会福祉士養成講座 精神保健福祉士養成講座12 ソーシャルワークの理論と方法 [共通科目]』中央法規出版)	
参考書・参考資料		宮田和明ら(2007)『社会福祉専門職論』中央法規出版 上野谷加代子(2020)『共生社会創造におけるソーシャルワークの役割』ミネルヴァ書房 川村隆彦(2011)『ソーシャルワーカーの力を高める理論・アプローチ』中央法規出版 大谷京子・田中和彦(2018)『失敗ポイントから学ぶPSWのソーシャルワークアセスメントスキル』中央法規出版	
学生との連絡方法		メール、AAAIにて連絡	
実務経験科目		実務経験科目に該当する。社会福祉法人マザアス 認知症高齢者グループホームおがわ の立ち上げ及び山梨県立富士見養護学校、山梨県立かえで養護学校に教諭として勤務。 実務経験をもとに社会福祉士のソーシャルワークについて理論と実践の融合を図っている。	

授業形態	開講学部	サービス経営学部		選択	2単位	講義	
	3年次	開講期	後期	ディスカッション	有	学外授業	無
授業科目（英名）	社会福祉援助技術論Ⅳ（Techniques in Social Works Ⅳ）						
担当教員名	藤田 則貴 (◎は科目責任者)						
<p>〔授業の概要〕 ソーシャルワークの実践における、各アプローチ技法をケースに落とし込み実践できる力へつなげていくこと、さらには事例検討をおとし、改めて対象とするクライアントの理解につなげることを目指します。</p> <p>〔科目の位置付け（全学年を通しての関連科目）〕 この科目は、サービス経営学部のカリキュラム・ポリシー（3）、すなわち、社会福祉コースの実践的で柔軟な専門性を修得する科目として位置づけられます。ソーシャルワークでは、ケースワークやグループワークといった方法を細分化でとらえるのではなく、ソーシャルワークを統一したものととして理論をとらえていきます。</p> <p>〔到達目標〕 (1) 各アプローチの実践を説明することができる。 (2) 総合的かつ包括的な相談援助を実践できる力を涵養する。 (3) 人権尊重、権利擁護、自立支援について理解し、実際の行動できる態度を身につける (4) 専門的援助技術として概念化し、理論化し、体系立てていくことができる能力を身につける</p>							
回	授業計画			授業外学修 (事前学修・事後学修)		担当者	
1	オリエンテーション/後期授業内容の確認・前期で学習した内容の復習 ◆後期で学ぶ内容についての確認と、前期で学んだ内容の問題を解く			事前学修（90分）：前期で学んだことを復習する。 事後学修（90分）：国家試験を意識し、復習する。		藤田則貴	
2	さまざまな実践モデルとアプローチⅡ① 【心理社会、機能的、問題解決、課題中心、危。機介入、行動変容アプローチ】 ◆事例を検討し、発表原稿を作成する			事前学修（90分）：テキスト「アプローチ」の内容を予習する。 事後学修（90分）：発表までの役割について準備する。		藤田則貴	
3	さまざまな実践モデルとアプローチⅡ② 【心理社会、機能的、問題解決、課題中心、危機介入、行動変容アプローチ】 ◆事例を検討し、発表原稿を作成する。			事前学修（90分）：発表までの役割について準備する。 事後学修（90分）：発表準備をする。		藤田則貴	
4	さまざまな実践モデルとアプローチⅡ③ 【心理社会、機能的、問題解決、課題中心、危機介入、行動変容アプローチ】 ◆事例を発表する。			事前学修（90分）：発表準備をする。 事後学修（90分）：各アプローチの内容について復習する。		藤田則貴	
5	さまざまな実践モデルとアプローチⅢ① 【エンパワメント、ナラティブ、認知、解決志向アプローチ】 ◆事例を検討し、発表原稿を作成する。			事前学修（90分）：テキスト第8章を予習する。 事後学修（90分）：発表までの役割について準備する。		藤田則貴	
6	さまざまな実践モデルとアプローチⅢ② 【エンパワメント、ナラティブ、認知、解決志向アプローチ】 ◆事例を発表する。			事前学修（90分）：発表準備をする。 事後学修（90分）：各アプローチの内容について復習する。		藤田則貴	
7	さまざまな実践モデルとアプローチⅠ～Ⅲ① ◆各アプローチの年号を作成し、時代背景を理解する。			事前学修（90分）：これまで学んだアプローチの内容を復習する。 事後学修（90分）：各アプローチについて説明できるようになる。		藤田則貴	
8	さまざまな実践モデルとアプローチⅠ～Ⅲ② ◆各アプローチの年号を作成し、時代背景を理解する。			事前学修（90分）：これまで学んだアプローチの内容を復習する。 事後学修（90分）：各アプローチについて説明できるようになる。		藤田則貴	
9	さまざまな実践モデルとアプローチⅠ～Ⅲ③ ◆各アプローチの年号を作成し、時代背景を理解する。			事前学修（90分）：これまで学んだアプローチの内容を復習する。 事後学修（90分）：各アプローチについて説明できるようになる。		藤田則貴	
10	事例検討① ◆事例研究について目的・意義を理解し、事例を分析する力を身につける。			事前学修（90分）：テキスト「事例分析、事例検討、事例研究」を予習する。 事後学修（90分）：多職種連携の実践を説明できる。		藤田則貴	
11	事例検討② ◆事例をとおして、ケースの分析を行う。			事前学修（90分）：SWの価値・知識・技術を復習する。 事後学修（90分）：検討した事例について振り返る。		藤田則貴	
12	事例検討③ ◆事例をとおして、ケースの分析を行う。			事前学修（90分）：SWの価値・知識・技術を復習する。 事後学修（90分）：検討した事例について振り返る。		藤田則貴	
13	事例検討④ ◆事例をとおして、ケースの分析を行う。			事前学修（90分）：SWの価値・知識・技術を復習する。 事後学修（90分）：検討した事例について振り返る。		藤田則貴	
14	事例検討⑤ ◆事例をとおして、ケースの分析を行う。			事前学修（90分）：SWの価値・知識・技術を復習する。 事後学修（90分）：検討した事例について振り返る。		藤田則貴	

15	まとめ/後期で学んだ内容に関する問題を解く	事前学修(90分)：後期で学んだことを振り返る。 事後学修(90分)：本科目と他の社会福祉士の指定科目との関連について言語化する。	藤田則貴
成績評価の方法と基準	受講態度及び確認レポート内容(40%)、課題レポート(60%)により、総合的に評価します。		
履修上の留意点	社会福祉士サブコース生の限定科目です。社会福祉援助技術論Ⅲ・Ⅳの履修によって、社会福祉士受験資格指定科目「ソーシャルワークの理論と方法(専門)」に該当します。		
ディプロマ・ポリシーとの関連	本科目は、サービス経営学部ディプロマポリシーの(1)～(4)と関連しています。特に、社会福祉を学ぶ最初の段階であるため、ソーシャルワーカーの価値を基盤としながら、価値・知識・技術を結び付けて理解することを目的とします。		
教科書	一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟 『最新 社会福祉士養成講座6 ソーシャルワークの理論と方法 [社会専門]』中央法規出版) 『最新 社会福祉士養成講座 精神保健福祉士養成講座12 ソーシャルワークの理論と方法 [共通科目]』中央法規出版)		
参考書・参考資料	宮田和明ら(2007)『社会福祉専門職論』中央法規出版 上野谷加代子(2020)『共生社会創造におけるソーシャルワークの役割』ミネルヴァ書房 川村隆彦(2011)『ソーシャルワーカーの力を高める理論・アプローチ』中央法規出版 大谷京子・田中和彦(2018)『失敗ポイントから学ぶPSWのソーシャルワークアセスメントスキル』中央法規出版		
学生との連絡方法	メール、AAA上		
実務経験科目	実務経験科目に該当する。社会福祉法人マザアス 認知症高齢者グループホームおがわ の立ち上げ及び山梨県立富士見養護学校、山梨県立かえで養護学校に教諭として勤務。 実務経験をもとに社会福祉士のソーシャルワークについて理論と実践の融合を図っている。		

授業形態	開講学部	サービス経営学部		選択	2単位	演習	
	3年次	開講期	前期	ディスカッション	有	学外授業	無
授業科目（英名）	社会福祉援助技術演習Ⅲ（Seminar in Social Work Skills III）						
担当教員名	藤田 則貴 （◎は科目責任者）						
<p>〔 授業の概要 〕 講義では特定のテキストは使用せず、個人作業並びにグループ作業、事例検討を通して、具体的な援助場面を想定した実技指導（ロールプレイング、アセスメント、ジレンマ対応）を中心とした演習を実施します。これらの学習プロセスにより、現場においてソーシャルワークの価値に根ざしてニーズキャッチを行い、実践につなげられる力量を獲得することを目指します。現場実習に臨むにあたって必要となる価値、知識、技術を確認し、特に集団を活用した相談援助（グループワーク）の事例などを用いながら進めていきます。</p> <p>〔 科目の位置付け（全学年を通しての関連科目） 〕 この科目は、本学部のカリキュラム・ポリシー（3）、すなわち、社会福祉コースの実践的で柔軟な専門性を修得する科目として位置づけられます。社会福祉援助技術演習Ⅲでは、相談援助の技術の中でも、グループを活用した援助（グループワーク）やコミュニティに対する支援に焦点を当てて価値、知識、技術を整理するとともに、ブレインストーミングやディスカッション等を通じて自らを振り返り、意見をまとめ、発信する力量を身につけます。</p> <p>〔 到達目標 〕 (1) ソーシャルワークの価値を基盤とし、具体的な実践における知識や技術、そして役割を理解できる。 (2) ソーシャルワーカーに求められる相談援助の知識技術を実践的に活用することができる。 (3) ソーシャルワークの価値に根ざし、かつ実践の根拠等、本質を押さえながら考え、また他者に発信する力量を身につけることができる。 (4) ソーシャルワーカーの専門性について自覚を持ち、価値に根ざした実践を考えることができる。</p>							
回	授業計画			授業外学修 （事前学修・事後学修）		担当者	
1	ガイダンス 社会福祉援助技術現場実習との連動について			事前学修（90分）：シラバスに目を通し、講義において自らが身につけたい力量について考える 事後学修（90分）：ガイダンスを踏まえた振り返りシートを作成する			
2	ソーシャルワークの価値と倫理①			事前学修（90分）：ソーシャルワークのグローバル定義を読む 事後学修（90分）：価値と倫理についての振り返りシートを作成する			
3	ソーシャルワークの価値と倫理②			事前学修（90分）：ソーシャルワークのグローバル定義のアジア地域版、日本版を読む 事後学修（90分）：価値と倫理についての振り返りシートを作成する			
4	事例検討及びロールプレイの実施①			事前学修（90分）：配付資料を読む 事後学修（90分）：振り返りシートを作成する			
5	事例検討及びロールプレイの実施②			事前学修（90分）：配付資料を読む 事後学修（90分）：振り返りシートを作成する			
6	事例検討及びロールプレイの実施③			事前学修（90分）：配付資料を読む 事後学修（90分）：振り返りシートを作成する			
7	事例検討及びロールプレイの実施④			事前学修（90分）：配付資料を読む 事後学修（90分）：振り返りシートを作成する			
8	地域住民に対するアウトリーチとニーズ把握			事前学修（90分）：自分の居住地や実習先の地域や住民の特徴について調べる 事後学修（90分）：自分の居住地や実習先の地域や住民のニーズについてまとめる			
9	地域アセスメントからサービスの評価			事前学修（90分）：自分の居住地や実習先の地域や住民についてアセスメントを行う 事後学修（90分）：自分の居住地や実習先の福祉政策やサービスについて評価する			
10	グループ・ダイナミクスの活用			事前学修（90分）：講義で配布したグループに対するインタビュー等についての資料を読む 事後学修（90分）：グループ・ダイナミクスの活用について振り返りシートに整理する			
11	実習計画の確認とシミュレーション、相互評価①			事前学修（90分）：実習計画書を作成する 事後学修（90分）：実習計画書を修正する			
12	実習計画の確認とシミュレーション、相互評価②			事前学修（90分）：実習計画書を作成する 事後学修（90分）：実習計画書を修正する			

13	実習に関するプレゼンテーション①	事前学修(90分)：実習先及び計画についてのプレゼンテーション資料を作成する 事後学修(90分)：仲間の意見をもとに計画を修正、ブラッシュアップする	
14	実習に関するプレゼンテーション②	事前学修(90分)：実習先及び計画についてのプレゼンテーション資料を作成する 事後学修(90分)：仲間の意見をもとに計画を修正、ブラッシュアップする	
15	実習に向かうにあたっての振り返りとまとめ	事前学修(90分)：これまでの講義で配付した資料を整理し、疑問点はないか確認する 事後学修(90分)：レジュメと資料を再読し、ポイントをまとめる	
成績評価の方法と基準	学習意欲の把握を行うものとしてコメント票(10%)、課題・レポート(40%)、演習への積極的な参加と態度(50%)により総合的に評価します。		
履修上の留意点	社会福祉士サブコース生の限定科目です。社会福祉援助技術演習Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ全ての履修によって、社会福祉士受験資格指定科目「ソーシャルワーク演習(専門)」に該当します。		
ディプロマ・ポリシーとの関連	本科目は、サービス経営学部ディプロマ・ポリシーの(2)に関連します。		
教科書	特にありません。適宜必要な資料を配付します。		
参考書・参考資料	必要に応じて講義内で紹介します。		
学生との連絡方法	AAAを使います		
実務経験科目	実務経験科目に該当する。社会福祉法人マザアス 認知症高齢者グループホームおがわ の立ち上げ及び山梨県立富士見養護学校、山梨県立かえで養護学校に教諭として勤務。 実務経験をもとに社会福祉士のソーシャルワークについて理論と実践の融合を図っている。		

授業形態	開講学部	サービス経営学部		選択	2単位	講義	
	2年次	開講期	前期	ディスカッション	有	学外授業	無
授業科目 (英名)	障害者福祉論 (Social Welfare for Handicapped People)						
担当教員名	藤田則貴 (◎は科目責任者)						
<p>[授業の概要]</p> <p>障害者の抱える生活課題、障害概念に関する国内外の変遷、障害福祉の理念や障害者総合支援法をはじめとする障害者を取り巻く各施策や法律など理解し、ソーシャルワーク実践につなげることを目指します。</p> <p>[科目の位置付け (全学年を通しての関連科目)]</p> <p>この科目は、サービス経営学部のカリキュラム・ポリシー (3)、すなわち、社会福祉コースの実践的で柔軟な専門性を修得する科目として位置づけられます。特に障害のある方々、そしてその周りの方々に対するかかわりについて、制度の側面や支援の展開についても実践的に学ぶことを目指します。</p> <p>[到達目標]</p> <p>(1) 障害者の生活実態を取り巻く社会情勢について理解することができる (2) 障害者にかかわる理論・権利擁護等の観点を理解することができる (3) 障害者福祉制度の発展過程について理解することができる</p>							
回	授業計画			授業外学修 (事前学修・事後学修)		担当者	
1	オリエンテーション/障害とは ◆障害者福祉論の概要について理解する。障害者の定義や、障害の捉え方について理解する。			事前学修 (90分) : 障害者にかかわるニュースについて調べる。 事後学修 (90分) : 障害の捉え方について復習する。		藤田則貴	
2	障害者を取り巻く社会情勢と障害者の生活実態 ◆障害者にかかわる歴史的背景や生活実態について理解する。			事前学修 (90分) : テキスト第1章を予習する。 事後学修 (90分) : 間違った問題を解く。		藤田則貴	
3	国際機能分類 (ICF) の特徴/医学モデルと社会モデル ◆ICFからみる障害の捉え方について理解する。			事前学修 (90分) : ICFについて調べ学習する。 事後学修 (90分) : ICFの事例を読み解く。		藤田則貴	
4	障害福祉の基本理念 ◆ノーマライゼーションやインテグレーション等の基本理念について理解する。			事前学修 (90分) : ノーマライゼーションを調べ学習する。 事後学修 (90分) : 歴史的背景を踏まえて理解する。		藤田則貴	
5	障害福祉の歴史 ◆国際的な動向と日本の歴史について比較し、障害福祉の発展について理解する。			事前学修 (90分) : 国際的な動向について調べ学習する。 事後学修 (90分) : 授業で確認した内容について復習する。		藤田則貴	
6	障害者の理解 ◆DVDをとおり、障害のある方々に関する理解を深める。			事前学修 (90分) : 歴史的な背景を復習する。 事後学修 (90分) : 障害のある方々の生活について理解する。		藤田則貴	
7	障害者にかかわる法体系① ◆障害者基本法、身体障害者福祉法・知的障害者福祉法について理解する。			事前学修 (90分) : テキスト第2章を予習する。 事後学修 (90分) : 各法律を復習する。		藤田則貴	
8	障害者にかかわる法体系② ◆精神障害者福祉法・発達障害者支援法について理解する。			事前学修 (90分) : テキスト第2章を予習する。 事後学修 (90分) : 各法律を復習する。		藤田則貴	
9	障害者にかかわる法体系③ ◆障害者虐待防止法、医療観察法、障害者差別解消法、について理解する。			事前学修 (90分) : テキスト第2章を予習する。 事後学修 (90分) : 各法律を復習する。		藤田則貴	
10	障害者にかかわる法体系④ ◆障害者雇用促進法、障害者優先調達推進法について理解する。			事前学修 (90分) : テキスト第2章を予習する。 事後学修 (90分) : 各法律を復習する。		藤田則貴	
11	障害者にかかわる法体系⑤ ◆バリアフリー新法、ユニバーサルデザインについて理解する。			事前学修 (90分) : テキスト第2章を予習する。 事後学修 (90分) : 各法律を復習する。		藤田則貴	
12	障害者総合支援法① ◆障害者総合支援法の概要を理解する。			事前学修 (90分) : 障害者総合支援法に関する概要を調べ学習する。 事後学修 (90分) : サービスの全容について言語化する。		藤田則貴	
13	障害者総合支援法② ◆障害者総合支援法における専門職の役割を理解する。			事前学修 (90分) : どのような専門職種がかかわるのか調べ学習する。 事後学修 (90分) : 専門職の役割について言語化する。		藤田則貴	
14	障害者総合支援法③ ◆各機関の役割や障害児に関する制度について理解する。			事前学修 (90分) : 障害福祉にかかわる機関について調べ学習する。 事後学修 (90分) : 障害者総合支援法の課題について検討する。		藤田則貴	
15	まとめ/今後の障害者政策、これからの障害福祉へのかかわり方			事前学修 (90分) : これまでの学習したことを復習する。 事後学修 (90分) : 障害福祉に関する課題について検討する。		藤田則貴	

成績評価の方法と基準	確認テスト(30%)、課題レポート(20%)、期末試験(50%)により総合的に評価します。
履修上の留意点	社会福祉士受験資格指定科目「障害者福祉」に該当します。
ディプロマ・ポリシーとの関連	本科目は、サービス経営学部ディプロマポリシーの(1)～(4)と関連しています。特に、障害のある方々に対する「当たり前前の生活」について具現化するために、歴史的背景や各制度の理解を深め、実践的に学習することを目指します。
教科書	一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟＝編集(2025)『最新 社会福祉士養成講座 精神保健福祉士養成講座8 障害者福祉 第2版』中央法規出版
参考書・参考資料	小六法編集委員会『福祉・保育小六法 2025年版』みらい 2025
学生との連絡方法	メール、AAA上
実務経験科目	実務経験科目に該当する。社会福祉法人マザアス 認知症高齢者グループホームおがわ の立ち上げ及び山梨県立富士見養護学校、山梨県立かえで養護学校に教諭として勤務。 実務経験をもとに社会福祉士のソーシャルワークについて理論と実践の融合を図っている。

授業形態	開講学部	サービス経営学部	選択	2単位	講義		
	3年次	開講期	前期	ディスカッション	有	学外授業	有
授業科目（英名）	ヒューマンサービスマネジメント論（Management of Human Service Programs）						
担当教員名	藤田 則貴						（◎は科目責任者）
<p>〔授業の概要〕 本科目「ヒューマンサービスマネジメント」における「ヒューマンサービス」は、かつて「ソーシャルサービス」と呼ばれた社会福祉サービスを、社会の面からだけでなく、人間を全面的にサポートするサービスとして「ヒューマンサービス」と呼んだことから借用された言葉です。現在、「ヒューマンサービス」という言葉は、社会福祉サービスを越えて、あらゆる対人サービスを指す言葉として使用されていますが、本科目においては、基本的に、「ヒューマンサービス」を特に福祉分野における「トータルサービス」としてとらえ、主として、そのようなトータルサービスとしての社会福祉プログラムのマネジメント（計画の手順、予算の立て方、運営方法等）について学修します。これにより、社会福祉分野だけではなく、保健、医療などの関連分野における総合プログラムの運営ができるようになることを目指します。</p> <p>〔科目の位置付け（全学年を通しての関連科目）〕 この科目は、本学部のカリキュラム・ポリシー（3）、すなわち、健康福祉マネジメント学科の専門への関心にしたがって系統的な履修を支援する専門基幹科目として位置付けられます。本科目は、保健・医療・福祉に関して深化させて学びます。「健康」「福祉」分野で活躍する専門職人材になるうえで、持っておくべき知識・視点を学ぶことができる科目です。</p> <p>〔到達目標〕 (1) 市区町村による社会福祉・健康関連サービスプログラムをトータルサービスの様々な観点（計画、企画、予算、組織化、人材育成、運営管理、等から評価できるようになる。 (2) 市区町村による社会福祉・健康関連サービスプログラムをトータルサービスの観点から企画・計画することができる。</p>							
回	授業計画		授業外学修 （事前学修・事後学修）		担当者		
1	オリエンテーション、ヒューマンサービスマネジメントとは何か		事前学修（90分）：シラバスの内容確認及び関連用語について調べておく。 事後学修（90分）：自分の出身地のヒューマンサービス（社会福祉トータルサービス）プログラムについて調べておく。		藤田 則貴		
2	老人クラブ・狭山市の高齢者福祉への取り組みとは何か		事前学修（90分）：狭山市の老人クラブ・狭山市の高齢者福祉への取り組みについて、調べておく。 事後学修（90分）：老人クラブ・狭山市の高齢者福祉への取り組みを再度確認し、調べておく。		藤田 則貴		
3	狭山市及び老人クラブの現状と課題について		事前学修（90分）：「老人クラブのあるべき姿について」自分の今の考えをまとめておく。 事後学修（90分）：「狭山市及び老人クラブの現状と課題」について復習し、説明できるようにしておく。		藤田 則貴（ゲスト講師：狭山市役所職員）		
4	狭山市におけるヒューマンサービスマネジメント（事例①）		事前学修（90分）：狭山市のトータルサポートについて市役所のHPを使って調べておく。 事後学修（90分）：ゲスト講義の感想をまとめておく。		藤田 則貴（ゲスト講師：狭山市役所職員）		
5	狭山市におけるヒューマンサービスマネジメント（事例②） 狭山市（福祉政策課）におけるヒューマンサービスマネジメント（事例③）		事前学修（90分）：狭山市社会福祉協議会・狭山市（福祉政策課）についてHPを使って調べておく。 事後学修（90分）：ゲスト講義の感想をまとめておく。		藤田 則貴（ゲスト講師：狭山市社会福祉協議会職員、狭山市役所職員）		
6	地域におけるヒューマンサービスマネジメント（事例④）		事前学修（90分）：地域におけるヒューマンサービスマネジメントの取り組み事例を調べる 事後学修（90分）：ゲスト講義への感想をまとめる		藤田 則貴（ゲスト講師：ボランティア実践家）		
7	フィールドワーク事前①個人ワーク・グループワーク		事前学修（90分）：「ウォークラリーの企画」についてウェブ検索を行い、その内容を確認しておく。 事後学修（90分）：「ウォークラリーの企画」について復習し、説明できるようにしておく。		藤田 則貴		
8	フィールドワーク事前②個人ワーク・グループワーク		事前学修（90分）：「ウォークラリーの企画・運営」についてその内容を確認しておく。 事後学修（90分）：「ゲストスピーカーによるウォークラリーの企画」について復習し、説明できるようにしておく。		藤田 則貴（ゲスト講師：狭山市役所職員）		
9	フィールドワーク事前③個人ワーク・グループワーク		事前学修（90分）：「ウォークラリーの企画・運営・実際」についてその内容を確認しておく。 事後学修（90分）：「ウォークラリーの企画・運営・実際」について復習し、説明できるようにしておく。		藤田 則貴		

10	フィールドワークの実際「老人クラブ連合会シニア・ウォークラリー」の準備	事前学修(90分)：「老人クラブ連合会シニア・ウォークラリー」について調べておく。 事後学修(90分)：「老人クラブ連合会シニア・ウォークラリー」について復習し、考察を行う。	藤田 則貴
11	フィールドワークの実際「老人クラブ連合会シニア・ウォークラリー」※第11回・12回火曜日2限分をウォークラリーに充てる。なお、中止時には、第11回・12回火曜日2限に講義を行う。※老人クラブ連合会シニア・ウォークラリー：7/12(土)に実施するため、空けておく。	事前学修(90分)：「老人クラブ連合会シニア・ウォークラリーの実際」について調べておく。 事後学修(90分)：「老人クラブ連合会シニア・ウォークラリー」について復習し、考察を行う。	藤田 則貴(老人クラブ連合会シニア・ウォークラリー：7/12(土)に実施)
12	フィールドワークの実際「老人クラブ連合会シニア・ウォークラリー」※第11回・12回火曜日2限分をウォークラリーに充てる。なお、中止時には、第11回・12回火曜日2限に講義を行う。※老人クラブ連合会シニア・ウォークラリー：7/12(土)に実施するため、空けておく。	事前学修(90分)：「老人クラブ連合会シニア・ウォークラリーの実際」について調べておく。 事後学修(90分)：「老人クラブ連合会シニア・ウォークラリー」について復習し、考察を行う。	藤田 則貴(老人クラブ連合会シニア・ウォークラリー：7/12(土)に実施)
13	フィールドワーク事後 個人ワーク・グループワーク	事前学修(90分)：「ウォークラリーの実際」の改善点についてその内容を確認しておく。 事後学修(90分)：「ウォークラリー」の課題・今後の展望について復習し、説明できるようにしておく。	藤田 則貴
14	ヒューマンサービスマネジメント 海外事例研究	事前学修(90分)：ヒューマンサービスマネジメント 海外事例についてウェブ検索を行い、その意味と国内外の運用事情について調べておく。 事後学修(90分)：海外の先進事例から日本で導入すべき取り組みを考察する。	藤田 則貴
15	全体のまとめとヒューマンサービスマネジメントの未来	事前学修(90分)：1～14回の内容の振り返りを行い、自身のキャリアプランに近い分野を重点的に復習する。 事後学修(90分)：自分の言葉で「ヒューマンサービスマネジメントとは何か」を説明できる文章を作成する。	藤田 則貴
成績評価の方法と基準		主として平常点・コメント票の内容・ウォークラリーの出席(60%)・レポート等(40%)により、総合的に評価します。	
履修上の留意点			
ディプロマ・ポリシーとの関連		本科目は、サービス経営学部ディプロマ・ポリシーの(1)～(4)と関連しています。	
教科書		教科書の指定はありません。適宜必要な文献を紹介します。	
参考書・参考資料		特にありません。適宜必要な資料を配布します。	
学生との連絡方法		AAAを活用します。	
実務経験科目		実務経験科目に該当する。社会福祉法人マザアス 認知症高齢者グループホームおがわ の立ち上げ及び山梨県立富士見養護学校、山梨県立かえで養護学校に教諭として勤務。 実務経験をもとに社会福祉士のソーシャルワークについて理論と実践の融合を図っている。	

授業形態	開講学部	サービス経営学部		選択	2単位	講義	
	2年次	開講期	後期	ディスカッション	有	学外授業	無
授業科目（英名）	相談援助の基盤と専門職Ⅱ（Base for Consultation Help and ProfessionⅡ）						
担当教員名	藤田 則貴 (◎は科目責任者)						
〔 授業の概要 〕 ソーシャルワーク専門職である社会福祉士の役割と意義、活動領域の理解と総合的かつ包括的な支援及び理論と専門的機能等について、講義・事例検討等を通して理解することを目的とします。また、ソーシャルワーク専門職としての役割や視点を養い、獲得することを併せて目指します。							
〔 科目の位置付け（全学年を通しての関連科目） 〕 この科目は、サービス経営学部のカリキュラム・ポリシー(3)、すなわち、社会福祉コースの実践的で柔軟な専門性を修得する科目として位置づけられます。ソーシャルワーカーあるいは社会福祉士とはどのような専門職であるのかを理解し、ソーシャルワーク専門職として実践する基盤を学ぶ科目です。							
〔 到達目標 〕 (1) ソーシャルワークを展開するための基礎的内容を理解する。 (2) ソーシャルワークの理念・概念・定義と、社会福祉士に求められる役割や理論について理解を深め、専門職としての基盤を獲得する。							
回	授業計画	授業外学修 (事前学修・事後学修)			担当者		
1	オリエンテーション（講義の概要、授業の進め方について）	事前学修（90分）：シラバスを読み、教科書に目を通す 事後学修（90分）：講義内容を振り返り、学修計画を立てる			藤田則貴		
2	相談援助の基盤と専門職Ⅰ（前期授業）の復習	事前学修（90分）：「相談援助の基盤と専門職Ⅰ」に係る授業内容の振り返りを行う 事後学修（90分）：講義内容を振り返り、復習する			藤田則貴		
3	社会福祉士の役割と意義（1） 社会福祉士の「強み」を考えてみる	事前学修（90分）：指定教科書第1章を読み、社会福祉士の役割と意義について予習する 事後学修（90分）：社会福祉士の役割と意義について復習する			藤田則貴		
4	社会福祉士の役割と意義（2） 社会福祉士の「弱み」を考えてみる	事前学修（90分）：指定教科書1章を読み、社会福祉士の役割と意義について予習する 事後学修（90分）：社会福祉士の役割と意義について復習する			藤田則貴		
5	リフレーミング（1） 社会福祉士の「強み」と「弱み」からの気付き	事前学修（90分）：弱みから強みへの転換を考えてみる 事後学修（90分）：社会福祉士の役割と意義を再確認する			藤田則貴		
6	リフレーミング（2） ソーシャルワークの価値・知識・技術を共有する	事前学修（90分）：指定教科書第2章及び3章を読む 事後学修（90分）：指定教科書第2章及び3章を復習する			藤田則貴		
7	視覚学習 ソーシャルワークの専門性を共有する	事前学修（90分）：ソーシャルワークの専門性を考えてみる 事後学修（90分）：専門性について振り返りを行う			藤田則貴		
8	社会福祉士が担う課題・問題の抽出 ミクロ・メゾ・マクロ領域において	事前学修（90分）：個人・社会を取り巻く課題や問題を考えてみる 事後学修（90分）：課題や問題を整理してみる			藤田則貴		
9	事例検討（1） ミクロレベルの課題・問題の解決	事前学修（90分）：指定教科書第7章を読んでおく 事後学修（90分）：ミクロレベルの課題・問題を整理する			藤田則貴		
10	事例検討（2） メゾレベルの課題・問題の解決	事前学修（90分）：指定教科書第7章を読んでおく 事後学修（90分）：メゾレベルの課題・問題を整理する			藤田則貴		
11	事例検討（3） マクロレベルの課題・問題の解決	事前学修（90分）：指定教科書第7章を読んでおく 事後学修（90分）：マクロレベルの課題・問題を整理する			藤田則貴		
12	事例検討（4） 課題解決に必要な社会資源の理解と創造	事前学修（90分）：指定教科書第8章を読んでおく 事後学修（90分）：社会資源の理解と創造について整理をする			藤田則貴		
13	事例検討（5） ソーシャルワークの役割と機能を言語化する	事前学修（90分）：指定教科書を読んでおく 事後学修（90分）：ソーシャルワークの役割と機能を言語化できるようにする			藤田則貴		
14	総合的かつ包括的な支援、多職種連携の意義	事前学修（90分）：指定教科書第8章を読んでおく 事後学修（90分）：ジェネラリスト、チームアプローチについて整理をする			藤田則貴		
15	口頭発表 皆さんが考える「相談援助（ソーシャルワーク）の基盤」と「専門職」とは	事前学修（90分）：口頭発表に向けて準備を行う 事後学修（90分）：後期授業のまとめを行う			藤田則貴		

成績評価の方法と基準	授業への積極的な参加姿勢（60%）、フィードバックシート（30%）、レポート（10%）で評価する見込みです。
履修上の留意点	社会福祉士サブコース生の限定科目です。社会福祉士受験資格指定科目「ソーシャルワークの基盤と専門職（専門）」に該当します。
ディプロマ・ポリシーとの関連	本科目は、サービス経営学部のディプロマポリシーの(1)と(3)、すなわち、社会福祉コースの実践的で柔軟な専門性を修得する科目として位置づけられます。ソーシャルワーカーあるいは社会福祉士とはどのような専門職であるのかを理解し、ソーシャルワーク専門職として実践する基盤を学ぶ科目です。
教科書	一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟『最新 社会福祉士養成講座 精神保健福祉士養成講座11 ソーシャルワークの基盤と専門職』中央法規出版)
参考書・参考資料	必要に応じて資料等を配布します。
学生との連絡方法	メール等を活用します。
実務経験科目	実務経験科目に該当する。社会福祉法人マザアス 認知症高齢者グループホームおがわ の立ち上げ及び山梨県立富士見養護学校、山梨県立かえで養護学校に教諭として勤務。 実務経験をもとに社会福祉士のソーシャルワークについて理論と実践の融合を図っている。

授業形態	開講学部	サービス経営学部	選択	2単位	講義・演習	
	2年次	開講期 前期	ディスカッション	有	学外授業	無
授業科目（英名）	フィットネス論（Fitness Theory）					
担当教員名	加藤 三彦 (◎は科目責任者)					
<p>〔授業の概要〕 身体の機能・体力について学びます。あわせて、体力の保持・増進のための各種トレーニングの進め方や種類についても学修し、各種トレーニングの内容を、視覚教材を使って説明し、実際に体を動かし、デモンストレーション・発表する場合があります。また、科学的エビデンスに基づくエクササイズである「スクエアステップ」も行います。トレーニングの「リスクマネジメント」として、応急処置や体力測定の評価の仕方なども学んでいきます。</p> <p>〔科目の位置付け（全学年を通しての関連科目）〕 この科目は、本学部のカリキュラム・ポリシー（3）、すなわち、健康サービスコースの実践的で柔軟な専門性を修得する科目として位置づけられます。日本は世界上位の長寿国ですが、生活習慣病の増加、低年齢化、社会の高齢化による国民医療費の増加などが社会問題となっています。因って、特に「フィットネス」による健康の回復・維持・増進は、個人にとっても社会にとっても重要なことです。ここでは、健康や体力の保持増進を目的として行う各種「トレーニング」に関する理解を深めるとともに、社会問題である体力低下の回復策について学び「身体的教養」を身に付けることがねらいです。</p> <p>〔到達目標〕 (1) スポーツにおける各種トレーニングの基本理論について理解を深め、スポーツにおけるリスクマネジメントとして、応急手当、心肺蘇生法、体力測定と評価等についての知識を修得することができる。【理解】 (2) 各種トレーニング(エアロビクス運動・筋力トレーニング・ストレッチング等)の技法を修得・理解し、適切に活用することができる。【スキル】 (3) セルフマネジメント・セルフコントロールといった自立的要素を理解し、健康的で有意義な学生生活を送っていくために活用できる。【コンピテンシー】</p>						
回	授業計画		授業外学修 (事前学修・事後学修)		担当者	
1	ガイダンス・評価の方法 ・授業の進め方、授業全体のアウトラインを説明します。 ・詳細シラバスを配布し、評価の方法について説明します。		事前学修（90分）：シラバス中の用語・概念の確認・理解 事後学修（90分）：新体力テストのデータを調べ、自己の体力評価をまとめる		加藤三彦	
2	体力とは ・事前配布資料、体力の概念について解説します。 ・体力の概念をもとに、自己の体力評価について考察します。		事前学修（90分）：体力の概念について調べる 事後学修（90分）：体力の種類と特性の確認・理解		加藤三彦	
3	トレーニングの進め方 ・事前配布資料、各種トレーニングの進め方について解説します。 ・各種トレーニングについて、トレーニング処方を考察します。		事前学修（90分）：トレーニングの原理・原則について調べる 事後学修（90分）：トレーニング処方の確認・理解		加藤三彦	
4	トレーニングの種類 ・事前配布資料、様々なトレーニングについて解説します。 ・各種トレーニングを、体力要素の分類に照らし合わせて考察します。		事前学修（90分）：形態別トレーニングについて調べまとめる 事後学修（90分）：体力要素で分類されたトレーニングの確認・理解		加藤三彦	
5	エアロビクス運動 ・エアロビクス運動について説明します。 ・演習として、グループ発表を行います。 ・グループワークを行い、トレーニング効果を考察します。		事前学修（90分）：エアロビクス運動について調べる 事後学修（90分）：エアロビクス運動の目的・方法・効果の確認・理解		加藤三彦	
6	筋力トレーニング ・筋力トレーニングについて説明します。 ・演習として、グループ発表を行います。 ・グループワークを行い、トレーニング効果を考察します。		事前学修（90分）：筋力トレーニングについて調べる 事後学修（90分）：筋力トレーニングの目的・方法・効果の確認・理解		加藤三彦	
7	ストレッチング ・ストレッチングについて説明します。 ・演習として、グループ発表を行います。 ・グループワークを行い、トレーニング効果を考察します。		事前学修（90分）：ストレッチングについて調べる 事後学修（90分）：ストレッチングの目的・方法・効果の確認・理解		加藤三彦	
8	トレーニングプログラムの作成（レポート提出） ・体力、トレーニングの概念を理解し、トレーニングプログラムシートを作成します。		事前学修（90分）：レポート作成のための資料収集・原稿作成 事後学修（90分）：トレーニングプログラム内容の確認・理解		加藤三彦	
9	コーディネーショントレーニング ・事前配布資料、コーディネーショントレーニングについて解説します。 ・動画視聴を行い、グループ発表を行います。 ・年代別、競技別に適した、コーディネーショントレーニングについて考察します。		事前学修（90分）：コーディネーショントレーニングについて調べる 事後学修（90分）：コーディネーショントレーニングの実施時期・効果の確認・理解		加藤三彦	
10	スクエアステップ① ・事前配布資料、スクエアステップについて説明します。 ・演習として、ステップ基本編をグループで実践します。 ・グループワークを行い、ステップ基本編の目的・効果を考察します。		事前学修（90分）：スクエアステップ基本編資料を読む 事後学修（90分）：スクエアステップ基本編の確認・理解		加藤三彦	
11	スクエアステップ② ・スクエアステップ基本編の復習を行います。 ・演習として、ステップチャレンジ編をグループで実践します。 ・グループワークを行い、スクエアステップの目的・方法・効果を考察します。		事前学修（90分）：スクエアステップチャレンジ編資料を読む 事後学修（90分）：スクエアステップチャレンジ編の確認・理解		加藤三彦	
12	トレーニングのリスクマネジメント① テーマ：応急処置、熱中症対策 ・事前配布資料、応急処置、熱中症対策について解説します。 ・グループワークを行い、テーマについて考察します。		事前学修（90分）：スポーツの応急手当について調べる 事後学修（90分）：応急手当の意義・方法・効果の確認・理解		加藤三彦	

13	<p>トレーニングのリスクマネジメント②</p> <p>テーマ：心肺蘇生</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前配布資料、心肺蘇生法、AEDの使い方について解説します。 ・動画視聴を行い、グループ発表を行います。 ・グループワークを行い、テーマについて考察します。 	<p>事前学修（90分）：心肺蘇生法について調べる</p> <p>事後学修（90分）：心肺蘇生法の原理・手順の確認・理解</p>	加藤三彦
14	<p>トレーニングのリスクマネジメント③</p> <p>テーマ：体力評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前配布資料、体力の測定と評価について解説します。 ・授業全体の学びをもとに、自己の体力評価について考察します。 	<p>事前学修（90分）：新体力テストについて調べる</p> <p>事後学修（90分）：体力の測定と評価の確認・理解</p>	加藤三彦
15	<p>総括（レポート提出）</p> <p>体力、トレーニングの概念、自己の体力評価をもとに、総括レポートを作成します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業の振り返り、まとめとして、授業内試験を行います。 	<p>事前学修（90分）：総括レポートの作成</p> <p>事後学修（90分）：トレーニングプログラムの確認・実行</p>	加藤三彦
成績評価の方法と基準		コメント票・小テスト（40%）、課題・レポート（20%）、試験（40%）により、総合的に評価します。	
履修上の留意点		本科目は、健康福祉マネジメント学科専門科目に位置づけられています。1年次に「日常生活と健康」を受講した履修者は、配布資料を再度見直して健康・運動についての復習をしておくことが大切です。	
ディプロマ・ポリシーとの関連		本科目は、サービス経営学部ディプロマポリシーの(1)～(3)と関連しています。特に(1)知識・理解：体系的な学修や多様な学修を通して、サービス経営学を構成する諸科学の学問内容及び方法を理解することが重要です。	
教科書		使用しません。授業用資料を適宜配布します。	
参考書・参考資料		『公認スポーツ指導者養成テキスト』 公益財団法人日本スポーツ協会 『健康・フィットネスと生涯スポーツ』 大修館書店 他	
学生との連絡方法		AAAを活用します。くわしくは授業の初回時に連絡・説明します。	
実務経験科目		実務経験科目に該当する。プロコーチとしての経験があり、実務経験をもとに身体教育学について理論と実践の融合を図っている。	

授業形態	開講学部	サービス経営学部		選択	2単位	講義・演習	
	2年次	開講期	後期	ディスカッション	有	学外授業	無
授業科目（英名）	コーチング論（Coaching Theory）						
担当教員名	加藤 三彦 (◎は科目責任者)						
<p>〔 授業の概要 〕 コーチングについての考え方や基本的手法について学びます。 場面によっては、ロールプレイ（役割演技）、デモンストレーション（模範演技）、グループワークなどを行います。セルフコーチング（自分で自分をコーチすること）が講義のメインストリームになります。 まとめとして、それぞれの立場から「コーチングステップアップシート」を作成していただきます。</p> <p>〔 科目の位置付け（全学年を通しての関連科目） 〕 この科目は、本学部のカリキュラム・ポリシー(3)、すなわち、健康サービスコースの実践的で柔軟な専門性を修得する科目として位置づけられます。 自己決定や自己解決といった自己実現をサポートしていくための手法として「コーチング」は存在しています。 スポーツ界が発祥の地であるコーチングは、今やさまざまな分野で注目されています。なぜならば、経営資源の中で最も重要視しなければならないのは「人」であり、その認識から資源を育て有効に活用するための体系化されたスキルがコーチングだからです。 ここでは、スポーツ界から端を発したコーチングの手法をベースに、幅広い分野に対応可能なコーチングの考え方や手法を学ぶこととします。</p> <p>〔 到達目標 〕 (1)個人やチームの能力を引き出し、最大限に伸ばす手法である「コーチング」の考え方・知識を説明できる。 【理解】 (2)指導・模範などの経験を通して、プレゼンテーションの技法を修得・理解し、適切に表現することができる。 【スキル】 (3)セルフマネジメント・セルフコーチングといった自立的要素を理解し、健康的で有意義な学生生活を送っていくために活用できる。【コンピテンシー】</p>							
回	授業計画			授業外学修 (事前学修・事後学修)		担当者	
1	ガイダンス・評価の方法 ・授業の進め方と授業全体のアウトラインを説明します。 ・詳細シラバスを配布し、評価の方法について説明します。			事前学修（90分）：シラバス中の用語・概念の確認・理解 事後学修（90分）：「セルフコーチングできる学生になる」の資料を読み、要点をまとめる		加藤三彦	
2	コーチングとは① テーマ：考え方 ・事前配布資料、基本的なコーチングの考え方について解説します。 ・これから必要とされるコーチング手法について考察します。			事前学修（90分）：「コーチングとは」の資料を読む 事後学修（90分）：コーチングの考え方の確認・理解		加藤三彦	
3	コーチングとは② テーマ：分類 ・事前配布資料、コーチングの分類について解説します。 ・グループワークを通して、分類別コーチングを考察します。			事前学修（90分）：「さまざまなコーチング」の資料を読む 事後学修（90分）：コーチングの分類の確認・理解		加藤三彦	
4	コーチングの基本① テーマ：PDCAサイクル・OODAサイクル ・事前配布資料、PDCAサイクル、OODAサイクルについて解説します。 ・自己のPDCAサイクルチェックシートについて考察します。			事前学修（90分）：PDCAサイクルについて調べる 事後学修（90分）：チェックシートの目的・方法・効果の確認・理解		加藤三彦	
5	コーチングの基本② テーマ：GROWモデル・自問自答 ・事前配布資料、GROWモデル・自問自答について解説します。 ・自己のGROWモデルを活用した意志決定シートについて考察します。			事前学修（90分）：GROWモデルについて調べる 事後学修（90分）：意志決定シートの目的・方法・効果の確認・理解		加藤三彦	
6	ティーチングとコーチング ・事前配布資料、ティーチングとコーチングについて解説します。 ・グループワークを通して、ティーチングとコーチングの違い、関係性について考察します。			事前学修（90分）：「ティーチングとコーチング」の資料を読む 事後学修（90分）：ティーチングとコーチングの使い分けの確認・理解		加藤三彦	
7	コミュニケーションスキル ・事前配布資料、コーチングに有益なコミュニケーションスキルについて解説します。 ・ロールプレイ（役割演技）を通して、コミュニケーションスキルについて考察します。			事前学修（90分）：「コミュニケーション技法」の資料を読む 事後学修（90分）：コミュニケーションのテクニック・スキル・マインドについての確認・理解		加藤三彦	
8	セルフコーチング（レポート提出） ・セルフコーチングとして「コーチングステップアップシート」を作成します。			事前学修（90分）：レポート作成のための資料収集・原稿作成 事後学修（90分）：自己のチェックシート、意志決定・自問自答シートの確認・理解		加藤三彦	
9	グループコーチング ・事前配布資料、グループコーチングについて解説します。 ・グループワークを通して、グループコーチングについて考察します。			事前学修（90分）：「グループコーチングの必要性」の資料を読む 事後学修（90分）：グループコーチングの目的・方法・効果の確認・理解		加藤三彦	
10	コーチングのコアスキル① テーマ：質問・傾聴・直観 ・事前配布資料、コーチングスキル（質問・傾聴・直観）について解説します。 ・ロールプレイ（役割演技）を通して、コーチングスキル（質問・傾聴・直観）について考察します。			事前学修（90分）：「質問・傾聴・直観について」の資料を読む 事後学修（90分）：質問・傾聴・直観の方法・効果の確認・理解		加藤三彦	
11	コーチングのコアスキル② テーマ：管理・確認 ・事前配布資料、コーチングスキル（管理・確認）について解説します。 ・ロールプレイ（役割演技）を通して、コーチングスキル（管理・確認）について考察します。			事前学修（90分）：「管理・確認について」の資料を読む 事後学修（90分）：管理・確認の方法・効果の確認・理解		加藤三彦	

12	関係性からのコーチング事例① テーマ：学生と教員の関係 ・事前配布資料、自己向上に必要なことについて解説します。 ・自己向上に必要なものについて、学生と教員の関係性から考察します。	事前学修（90分）：参考文献、「自己向上に必要なもの」の資料を読む 事後学修（90分）：学生と教員の関係性の確認・理解	加藤三彦
13	関係性からのコーチング事例② テーマ：選手と指導者の関係、モチベーションマネジメント ・事前配布資料、自己向上のためのキーワード、モチベーションマネジメントについて解説します。 ・内発的動機づけ(モチベーション)について考察します。	事前学修（90分）：参考文献、「自己向上のためのキーワード」の資料を読む 事後学修（90分）：選手と指導者の関係性の確認・理解	加藤三彦
14	コーチング学に必要な分野 ・事前配布資料、セルフマネジメント、セルフコーチングについて解説します。 ・自己向上に必要な、セルフマネジメント、セルフコーチングについて考察します。	事前学修（90分）：「セルフマネジメントとセルフコーチング」の資料を読む 事後学修（90分）：コーチングに必要な内容の確認・理解	加藤三彦
15	総括（レポート提出） ・授業の振り返りをし、コーチング総括レポートを作成します。 ・授業の振り返り、まとめとして、授業内試験を実施します。	事前学修（90分）：総括レポートの作成 事後学修（90分）：コーチングステップアップシートの確認・実行	加藤三彦
成績評価の方法と基準	コメント票・小テスト（40%）、課題・レポート（20%）、試験（40%）により、総合的に評価します。		
履修上の留意点	本科目は、健康福祉マネジメント学科専門科目に位置づけられています。事前準備として、自らの興味・関心のある分野（スポーツ・福祉・医療・ビジネスなど）のコーチング本を何冊か読んでから受講してください。		
ディプロマ・ポリシーとの関連	本科目は、サービス経営学部ディプロマポリシーの(1)・(2)・(3)と関連しています。特に(1)知識・理解：体系的な学修や多様な学修を通して、サービス経営学を構成する諸科学の学問内容及び方法を理解することが重要です。		
教科書	使用しません。授業用資料を適宜配布します。		
参考書・参考資料	『公認スポーツ指導者養成テキスト』 公益財団法人日本スポーツ協会 『努力が結果につながらない人に気づいてほしいこと』 新潮社 『前進力-自分と組織を強くする73のヒント-』 新潮社 必要に応じて文献を紹介します。		
学生との連絡方法	授業の初回時に連絡・説明、及びトリプルエー（AAA）を活用します。		
実務経験科目	実務経験科目に該当する。プロコーチとしての経験があり、実務経験をもとにスポーツ科学、指導法（コーチング）について理論と実践の融合を図っている。		

授業形態	開講学部	サービス経営学部		選択	2単位	講義	
	3年次	開講期	前期	ディスカッション	有	学外授業	無
授業科目 (英名)	スポーツマネジメント論Ⅰ (Sports ManagementⅠ)						
担当教員名	加藤 三彦 (◎は科目責任者)						
<p>〔授業の概要〕 健康領域を含むスポーツビジネスは、成長産業の1つとして世の中が認めつつあります。本科目では、スポーツ産業に関連する基礎知識の修得に努め、スポーツ市場のメカニズムに関する理解を深めることをねらいとします。</p> <p>〔科目の位置付け(全学年を通しての関連科目)〕 この科目は、本学部のカリキュラム・ポリシー (3)、すなわち、健康サービスコースの実践的で柔軟な専門性を修得する科目として位置づけられます。 スポーツマネジメント論Ⅰは、基礎、基本編として捉えています。スポーツ産業に関連した基礎知識や基本的な考え方を学んでいきます。後期に開講する「スポーツマネジメント論Ⅱ」も合わせて受講していただきたいと思います。 また、「サービス・ラーニング(スポーツマネジメント)」を既に受講した学生にとっては、その演習で経験したプロジェクトをさらに裏付ける体系的な学びとなります。</p> <p>〔到達目標〕 (1) スポーツとは何か、マネジメントとは何か、について説明できる。【理解】 (2) スポーツ組織の仕事、スポーツ市場のメカニズムについて説明できる。【スキル】 (3) 実践・体験を通して、多様なスポーツ場面やスポーツイベントへの関心をひろげ、セルフマネジメント・セルフコーチングできる態度を身に付け、今後に応用できる。【コンピテンシー】</p>							
回	授業計画	授業外学修 (事前学修・事後学修)			担当者		
1	ガイダンス・評価の方法 ・授業の進め方と授業全体のアウトラインを説明します。 ・詳細シラバスを配布し、評価の方法について説明します。	事前学修(90分)：シラバス中の用語・概念の確認・理解 事後学修(90分)：「フェアプレイという考え方」の資料を読み、要点をまとめる			加藤三彦		
2	スポーツとは何か ・事前配布資料、スポーツの現状と意義について解説します。 ・スポーツのこれからの在り方について考察します。	事前学修(90分)：「スポーツとは」の資料を読む 事後学修(90分)：講義内容、「スポーツとは」の資料の確認・理解			加藤三彦		
3	マネジメントとは何か ・事前配布資料、マネジメントの基本概念について解説します。 ・マネジメントについて多様な角度から考察します。	事前学修(90分)：「マネジメントとは」の資料を読む 事後学修(90分)：講義内容、「マネジメントとは」の資料の確認・理解			加藤三彦		
4	スポーツマネジメントとは何か ・事前配布資料、スポーツマネジメントの基本概念について解説します。 ・スポーツマネジメントについて、ビジネス、マーケティング、オペレーションの側面から考察します。	事前学修(90分)：「スポーツマネジメントとは」の資料を読む 事後学修(90分)：講義内容、「スポーツマネジメントとは」の資料の確認・理解			加藤三彦		
5	スポーツ文化の違いとマネジメントタイプ ・事前配布資料、スポーツ文化について解説します。 ・動画視聴を行い、グループでスポーツ文化とマネジメントタイプの違いを考察します。	事前学修(90分)：「マネジメントタイプ」の資料を読む 事後学修(90分)：講義内容、「マネジメントタイプ」の資料の確認・理解			加藤三彦		
6	スポーツイノベーション ・事前配布資料、現代社会で起きているスポーツイノベーションについて解説します。 ・動画視聴を行い、グループ発表を行います。 ・グループワークを行い、これからのスポーツ界におけるイノベーションを考察します。	事前学修(90分)：「イノベーション活動」の資料を読む 事後学修(90分)：講義内容、「イノベーション活動」の資料の確認・理解			加藤三彦		
7	スポーツマネジメントとネットワーク ・事前配布資料、スポーツマネジメントにおけるネットワーク機能の大切さについて説明します。 ・セルフマネジメントとして、自己のネットワーク機能を考察します。	事前学修(90分)：「スポーツと行政」の資料を読む 事後学修(90分)：講義内容、「スポーツと行政」の資料の確認・理解			加藤三彦		
8	セルフマネジメント・ネットワーク(中間テスト・レポート提出) ・セルフマネジメントとして、自己ネットワークのレポートを作成します。 ・スポーツマネジメントの概要、スポーツイノベーション等についての簡易テストを実施します。	事前学修(90分)：レポート作成のための資料収集・原稿作成 事後学修(90分)：自己チェックシート、自己ネットワーク分野の確認・理解			加藤三彦		
9	スポーツビジネス テーマ：スポーツ資源を活かす ・事前配布資料、スポーツビジネスについて解説します。 ・動画視聴を行い、グループ発表を行います。 ・グループワークを行い、テーマについて考察します。	事前学修(90分)：「スポーツビジネス」の資料を読む 事後学修(90分)：講義内容、「スポーツビジネス」の資料の確認・理解			加藤三彦		
10	スポーツマーケティング テーマ：スポーツサービスを供給する ・事前配布資料、スポーツマーケティングについて解説します。 ・動画視聴を行い、グループ発表を行います。 ・グループワークを行い、テーマについて考察します。	事前学修(90分)：「スポーツマーケティング」の資料を読む 事後学修(90分)：講義内容、「スポーツマーケティング」の資料の確認・理解			加藤三彦		
11	スポーツオペレーション テーマ：スポーツ活動をつくる ・事前配布資料、スポーツオペレーションについて解説します。 ・動画視聴を行い、グループ発表を行います。 ・グループワークを行い、テーマについて考察します。	事前学修(90分)：「スポーツオペレーション」の資料を読む 事後学修(90分)：講義内容、「スポーツオペレーション」の資料の確認・理解			加藤三彦		
12	スポーツ市場のメカニズム① テーマ：生産者と消費者 ・事前配布資料、スポーツ市場における生産者と消費者の関係について説明します。 ・グループワークを行い、テーマについて考察します。	事前学修(90分)：「スポーツ市場に含まれる人びと」の資料を読む 事後学修(90分)：講義内容、「スポーツ市場に含まれる人びと」の資料の確認・理解			加藤三彦		

13	スポーツ市場のメカニズム② テーマ：購買プロセス ・事前配布資料、スポーツ市場における購買プロセスについて説明します。 ・グループワークを行い、テーマについて考察します。	事前学修(90分)：「スポーツ購買行動」の資料を読む 事後学修(90分)：講義内容、「スポーツ購買行動」の資料の確認・理解	加藤三彦
14	スポーツ市場のメカニズム③ テーマ：消費心理とブランド ・事前配布資料、スポーツ市場における消費者心理、ブランド志向について説明します。 ・グループワークを行い、テーマについて考察します。	事前学修(90分)：「スポーツへのこだわり」の資料を読む 事後学修(90分)：講義内容、「スポーツへのこだわり」の資料の確認・理解	加藤三彦
15	総括(レポート提出) ・授業の振り返りをし、スポーツマネジメント総括レポートを作成します。 ・授業の振り返り、まとめとして、授業内試験を実施します。	事前学修(90分)：総括レポートの作成 事後学修(90分)：自己チェック(PDCAサイクル)シート、意志決定(GROWモデル)シートを活用・実行	加藤三彦
成績評価の方法と基準	コメント票・小テスト(40%)、課題・レポート(20%)、試験(40%)により、総合的に評価します。		
履修上の留意点	本科目は、健康福祉マネジメント学科専門科目に位置づけられています。事前準備として、興味のあるスポーツ報道(新聞・テレビ・インターネットなど)から情報収集し、スポーツビジネスの仕組みや成り立ち、マネジメントを自分の視点から解読できる習慣を付けてください。		
ディプロマ・ポリシーとの関連	本科目は、サービス経営学部ディプロマポリシーの(1)、(3)と関連しています。特に(1)知識・理解：体系的な学修や多様な学修を通して、サービス経営学を構成する諸科学の学問内容及び方法を理解することが重要です。		
教科書	使用しません。授業用資料を適宜配布します。		
参考書・参考資料	『図解 スポーツマネジメント』 大修館書店 『新しいスポーツマネジメント』 大修館書店 『基本 スポーツマネジメント』 大修館書店 さらに必要に応じて文献等を指示します。		
学生との連絡方法	授業の初回時に連絡・説明、及びAAAを活用します。		
実務経験科目	実務経験科目に該当する。プロコーチとしての経験があり、実務経験をもとに、スポーツ科学、スポーツマネジメントについて理論と実践の融合を図っている。		